目　次

1 はじめに

- 特長 …… 1
- 付属品 …… 2
- 製品仕様 …… 2

2 設置条件

- 設置場所 …… 3
- 設置を避ける場所 …… 3
- 電源について …… 4
- 電源の入れかた …… 4

3 各部の名称と機能

- 外観 …… 5
- 操作部 …… 6

4 ケースの外しかた …… 7

5 バッテリーコネクタの接続 …… 8

6 初期化のしかた …… 9

7 設定表の作成

- 設定項目の確認 …… 10
- 設定表の記入例 …… 11

8 設定方法

- 設定方法 …… 12
- 設定手順 …… 13
- 時・分のセット …… 14
- 年・月・日のセット …… 15
- 締日・空欄のセット …… 16
- 段送り時刻のセット …… 17
- 二色印字切換時刻と時報吹鳴時刻のセット …… 18
- メロディを鳴らす時刻のセット …… 20
- 時報吹鳴時間のセット …… 22

目　次

9 設定内容の確認
- 二色印字・時報・メロディの設定確認 …… 23

10 設定内容の変更
- 二色印字・時報・メロディの設定時刻の削除 …… 24
- 設定内容の追加 …… 25
- 二色印字・時報・メロディの設定時刻の変更 …… 26

11 アナログ時計のセット …… 27

12 ご使用方法
- タイムカードの種類 …… 28
- 印字欄の合わせかた …… 29
- 停電時の打刻 …… 30
- 日常のお手入れ …… 31

13 メロディの音量調節 …… 32

14 外部時報のつなぎかた
- 外部接続仕様 …… 33
- 時報線の接続 …… 34

15 壁に掛ける場合 …… 35

16 リボンカセットの交換 …… 36

17 消耗品・別売品 …… 37

18 設定の早見表 …… 38

19 設定表 …… 40

五十音順目次

1 はじめに

この度は、アマノ電子タイムレコーダー EX6100/6200をお求め頂き、まことにありがとうございます。

EX6000シリーズはコンパクトなボディに大きなアナログ時計を持ちました。

また１日程度の停電があっても、タイムカードへ打刻できるなど、安心してお使いいただける電子タイムレコーダーです。

この「取扱説明書」は設定方法をわかりやすく説明しておりますので、お読みいただき、正しくご使用ください。

特長

- 停電があっても時計は７日間歩進します。
- １日程度の停電なら、タイムカードへ打刻できます。
- タイムカードの表裏を誤って挿入しても、自動判別され、印字しません。
- タイムカードの締日や空欄位置は自由に設定できます。
- 万年カレンダー内蔵のため、月末調整は不要です。
- 二色印字（黒・赤）切り換えができます。
- 外部時報・メロディを鳴らせます。(EX6200)

1 はじめに

付属品

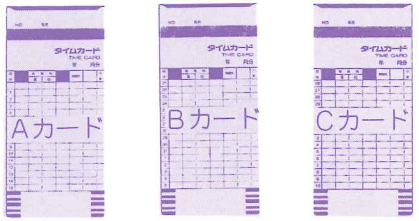
EX6000シリーズを開梱しましたら、付属品をお確かめください。

■ ご愛用者カード　1通

■ 取扱説明書（本書）1冊

■ 鍵　　2個

■ タイムカード　A・B・C各1枚



製品仕様

モデル名＼仕様	2色印字	時報	メロディ
EX6100	○		
EX6200	○	○	○

使用電源：　AC100V±10%（50／60Hz）
消費電力：　常時3W　最大6W
環境条件：　温度　−10℃〜45℃
　　湿度　10%〜90%RH（結露のないこと）
外形寸法：　204(W)×228(H)×154(D)（mm）
重　　量：　2.8kg
停電補償：　停電時打刻可（80打刻、停電してから1日以内）
　　80打刻（最大1日）：印字欄ガイド表示が点滅中
　　時計歩進、メモリ保持（7日間）：デジタル表示が消え、アナログ時計の歩進も停止している時は印字できませんが、時計・メモリは保持されています。

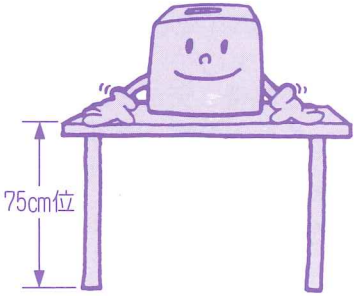
2 設置条件

設置場所は良い所へ

製品を長くお使いいただくためにも設置場所や電源は良い状態を選びます。

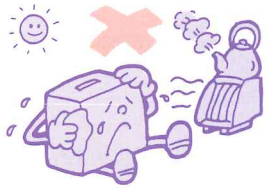
設置場所

■ 台の高さは75cmくらいが適当です。
■ タイムレコーダーは水平に設置してご使用ください。
■ アマノ専用レコーダースタンドがございます。ご利用ください。



設置を避ける場所

■ 直射日光や熱源に近い場所



■ 雨水等の直接当たる場所

■ ホコリ、振動の多い場所

■ 強い振動や衝撃

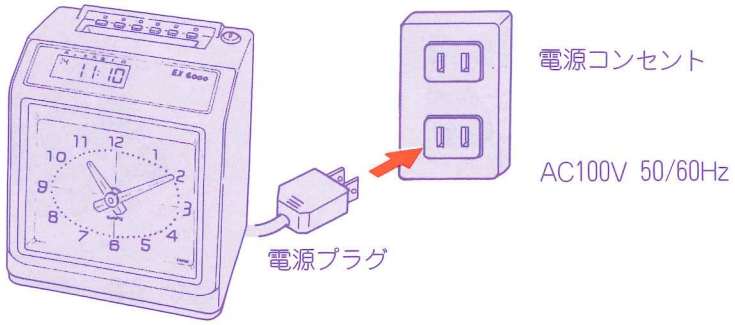
2 設置条件

電源について

- 電源はAC100V（50/60Hz）でご使用ください。
- 電源、電圧は安定した所を使用します。（±10%以内）
- 停電しても時計歩進・設定内容は7日間正常です。
- 復電後、デジタルおよびアナログ時計は自動的に現在時刻になります。
  長期間停電しますと、復電後30秒間、何も作動しないことがありますが、故障ではありません。

電源の入れかた

電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込みます。



停電補償のバッテリーを内蔵しています。
ケースを外し、バッテリーコネクタを接続してから設定をします。

3 各部の名称と機能

外観

印字欄ガイド表示
赤く点灯している欄へ印字します。点滅している時は停電中です。

欄ボタン（設定項目ボタン）
タイムカードへ印字する場所（欄）はこのボタンを押して選択します。

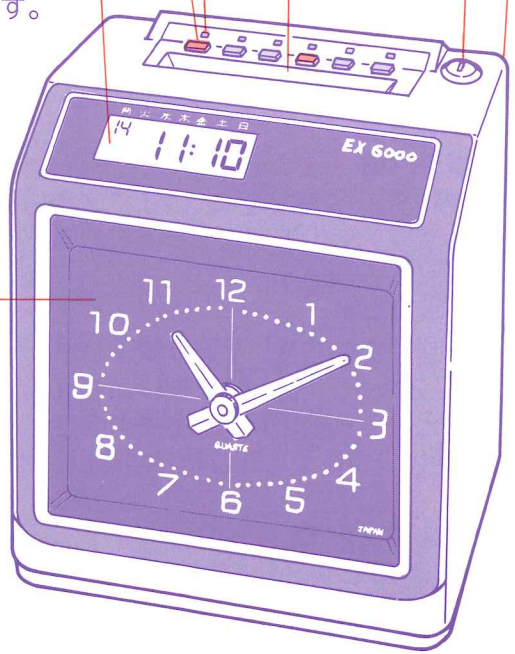
液晶式デジタル表示器
日・時・分・曜日指示を表示します。

アナログ式時計文字盤
遠くからでも時間のわかる大きな文字盤時計です。

カードポケット
ここからタイムカードを差し込みます。
表面・裏面を誤って差し込んでも印字しない両面判別機能がついています。

キー
上ケースが外れないように固定しています。

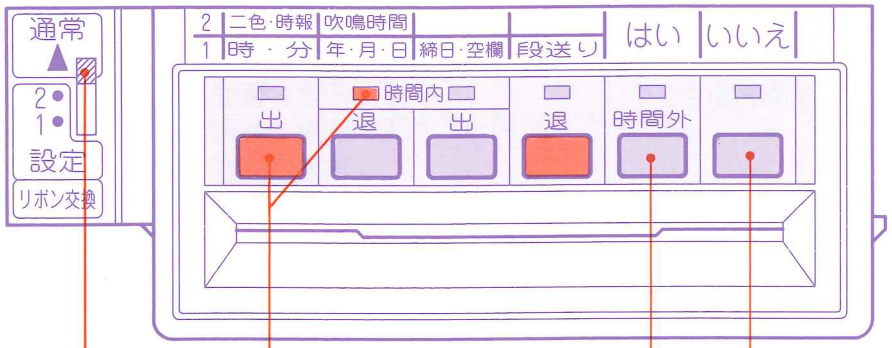
上ケース
設定、リボンカセットの交換、アナログ時計をセットする時に外します。



3 各部の名称と機能

操作部

設定操作を行う場合の機能を説明します。



【EX6200】

■ 項目ボタン（欄ボタン）赤ランプ ■

設定したい項目を選択します。
項目ボタンを押すと点灯します。
（点灯している項目の設定ができます。）

■ はい ボタン■

表示部の点滅している数字がセットしたい数字であれば
はい を押します。その数字がセットされます。

■ いいえ ボタン■

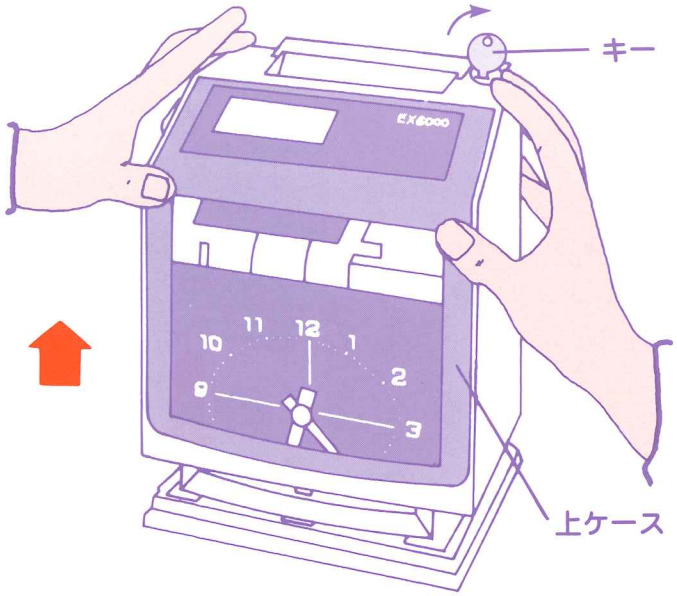
いいえ を一回押すと点滅している数字が＋１します。
希望の数字になるまで いいえ を押し、セットしたい数になったら
はい を押すと、その数字がセットされます。
（いいえ を押しつづけると10位桁が早送りします。）

■ スライドスイッチ ■

時分 ～ 段送り のセットをする時は「１」の位置に合わせます。
二色·時報 、 吹鳴時間 のセットをする時は、「２」の位置にします。
設定が終了したら「通常」に戻します。

4 ケースの外しかた

設定・アナログ時計のセット・リボンカセットを交換する時にはケースを外さないとできません。



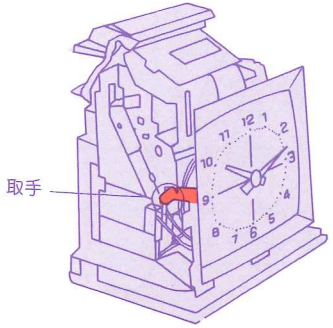
付属のキーを差し込んで、右にまわし、上ケースを真っすぐ上に持ち上げて外してください。

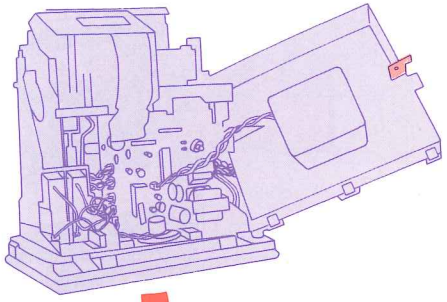
➡ 設定方法 12ページ ～ 22ページ
➡ アナログ時計のセット 27ページ
➡ リボンカセットの交換 36ページ

5 バッテリーコネクタの接続

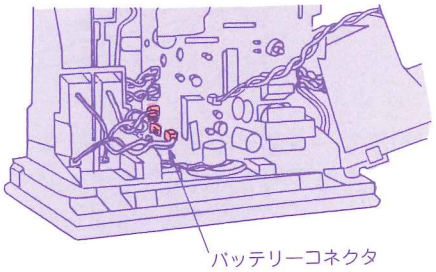
付属のキーを差し込み、右に回し、上ケースを真っすぐ上に持ち上げて外し、下図のように文字盤を開きバッテリーをつなぎます。

1 文字盤の左横についている取手をもって押し下げ、ツメからはずして文字盤を手前に開きます。

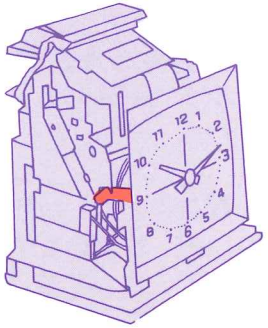




2 バッテリーコネクタ２つをつなぎます。
（どちらに接続しても構いません。）



3 取手をツメに引っ掛け、文字盤をしめます。



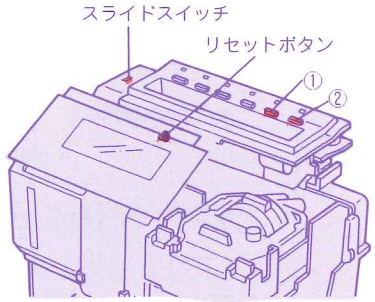
6 初期化のしかた

初めて電源を入れた（バッテリーコネクタを接続し、電源を入れる）時は、設定内容が不確定となっています。
従って、設定できるように初期化をします。

■ 付属キーを差し込んで右にまわし、上ケースを真っすぐに持ち上げて、上ケースを外します。

■ スライドスイッチを「設定１」に合わせ、① ②のボタンを同時に押したまま、リセットボタンを押します。

（リセットボタンはペンのように先の細いもので押してください。）



約15秒後、デジタル表示器に 01 00:00 と表れ、初期化したことを示します。

■ 項目セット前は、
下表のように初期セットされています。

項　目	初期値	
時　　分	00:00	
年　月　日	1988年１月１日	
締日/空段	月末締/表面最上段（Aカード）	31:01
段送り時刻	05:00	
二色/時報	状態継続/鳴らさない	00 00:00
時報吹鳴時間	5 秒	

設定する前に就業条件を確認し、設定表を作りましょう。

設定項目の確認

設定する項目と内容は下表の通りです。
対応機種によっても設定項目が変わります。

設定項目	内　容	対応機種
締　日	1ヵ月単位の処理月の最終日	EX 6100/6200
空　欄	個別タイムカードで両面16段のうち空白にする段	EX 6100/6200
段送り時刻	印字段を次の段へ切り換える時刻（日付切換時刻）	EX 6100/6200
二色印字切換時刻	始業、終業時刻の印字色を切り換える時刻	EX 6100/6200
時報を鳴らす時刻	就業時間の区切りを知らせるための時刻（休憩等）	EX 6200
メロディを鳴らす時刻	就業時間の区切りを知らせるための時刻（休憩等）	EX 6200
時報吹鳴時間	時報を鳴らす秒数	EX 6200

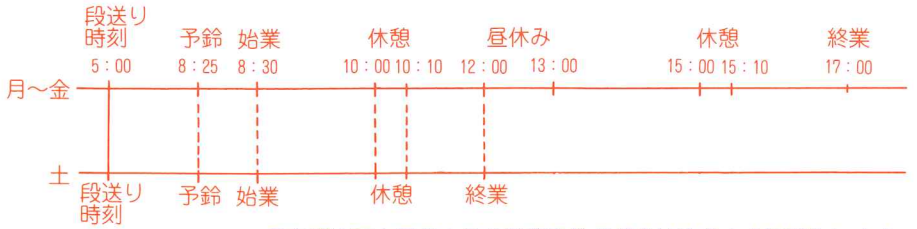
※メロディは曲毎に設定されていますので、「時報吹鳴時間」とは関係ありません。

7 設定表の作成

就業条件にあてはめながら記入します。

設定表は本書末(40、41ページ)にあります。

例)



月末締めで上図のような就業条件の場合は次のように記入します。

【EX6200の場合】

締日	3	1

日（01～31）

空欄	0	1

No(01～32) ……アマノAカード

段送り時刻	0	5	0	0

時・分　(00：00～23：59)

時報吹鳴時間		3

秒（0～12）0秒の時は吹鳴しません

曜日							二色・時報	メロディ	時刻
月	火	水	木	金	土	日			時：分
○	○	○	○	○	○		2	2	8:25
○	○	○	○	○	○		1	0	8:30
○	○	○	○	○	○		4	0	8:31
○	○	○	○	○	○		0	1	10:00
○	○	○	○	○	○		0	2	10:10
○	○	○	○	○			1	0	12:00
					○		3	0	12:00
○	○	○	○	○			1	0	13:00
○	○	○	○	○			0	1	15:00
○	○	○	○	○			0	2	15:10
○	○	○	○	○			3	0	17:00

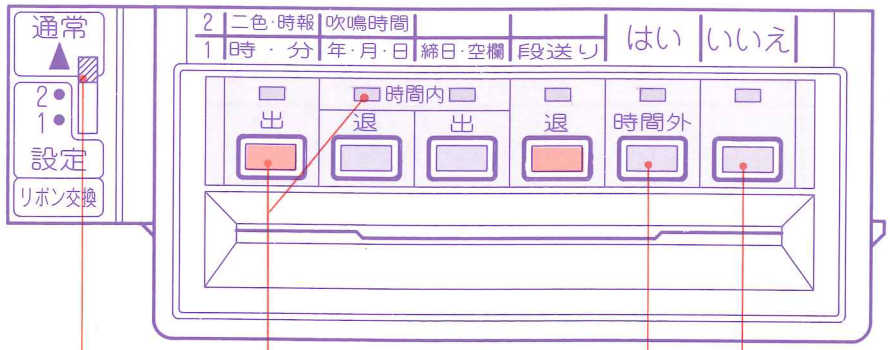
二色印字・時報・メロディは
下表のコードNo.を設定します。

	No.	二色	時報
★	0	継続	鳴らさない
★	1	継続	鳴らす
	2	黒	鳴らさない
	3	黒	鳴らす
	4	赤	鳴らさない
	5	赤	鳴らす

No.	メロディ
0	鳴らさない
1	グリーンスリーブス
2	エリーゼのために

★ EX6100の場合はNo. 1～5を設定します

ご使用になるために「現在時刻」「年・月・日」「締日・空欄」「段送り時刻」「二色印字/時報/メロディ」「吹鳴時間」をセットします。



【EX6200】

■ 項目ボタン（欄ボタン）赤ランプ ■

設定したい項目を選択します。
項目ボタンを押すと点灯します。
（点灯している項目の設定ができます。）

■ はい ボタン■

表示部の点滅している数字がセットしたい数字であれば
はい を押します。その数字がセットされます。

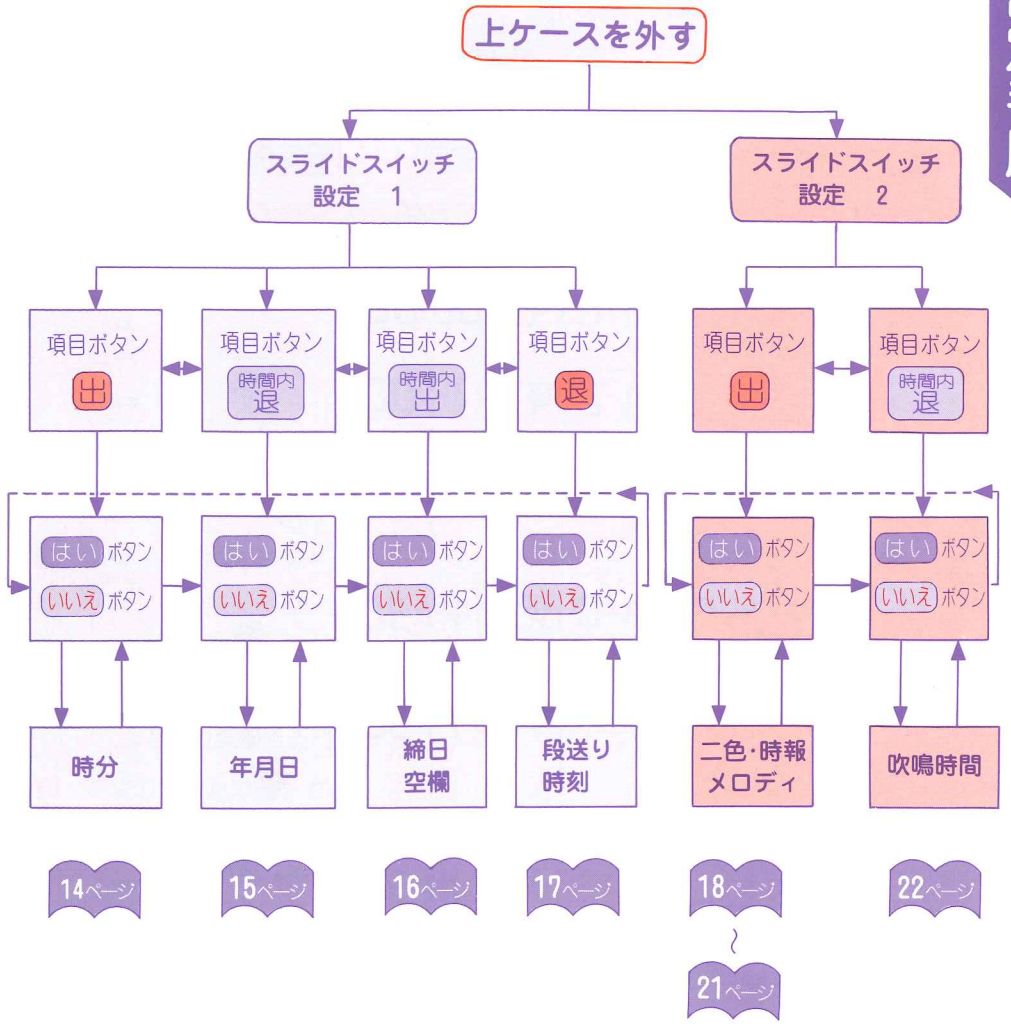
■ いいえ ボタン■

いいえ を一回押すと点滅している数字が＋１します。
希望の数字になるまで いいえ を押し、セットしたい数になったら
はい を押すと、その数字がセットされます。
（ いいえ を押しつづけると10位桁が早送りします。）

■ スライドスイッチ ■

時分 ～ 段送り のセットをする時は「１」の位置に合わせます。
二色・時報 、 吹鳴時間 のセットをする時は、「２」の位置にします。
設定が終了したら「通常」に戻します。

8 設定方法



＊ 項目ボタンを押せば、どの項目からでも設定できます。

8 設定方法

時・分のセット

現在時刻をセットします。

操作1から始めます。

設定例：午後2時30分

操作	表示	注意
1 希望の“時”がでるまで いいえ を繰り返し押します。 ↓ はい を押します。 〔14時をセット〕	日 時 分 ⓐ 01 00:00 ⓑ 01 14:00 ⓒ 01 14:00	初期値午前0時が表れます。
2 希望の“分”がでるまで いいえ を繰り返し押します。 ↓ はい を押します。 〔30分をセット〕	ⓓ 01 14:30 ⓔ 01 14:30	合わせたい時刻になっているか確認します。 ↓ やり直す時は いいえ を押します。 ⓐの表示に戻ります。
3 セットを完了するため、 はい を押します。 《セット完了》 注意）はい を押さないと 時刻はセットされません。	日 時 分 ⓕ 01 14:30	はい を押した時点で 0秒よりスタートします。

設定を終了する時は、スライドスイッチを「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

年・月・日のセット

★ 時刻をセットしたら、時計の長針を指で回し、現在時刻に合わせます。

8 設定方法

年・月・日のセット

日付をセットします。

★時・分のセットに続いて行うときは、操作1からはじめます。

操作1から始めます。

設定例：1989年 6月10日の場合

操作	表示	注意
1 希望の“年”がでるまで いいえ を繰り返し押します。 ↓ はい を押します。 〔1989年をセット〕	年 月 日 ⓐ 88 01 01 ⓑ 89 01 01 ⓒ 89 01 01	初期値1988年1月1日が表れます。
2 希望の“月”がでるまで いいえ を繰り返し押します。 ↓ はい を押します。 〔6月をセット〕	ⓓ 89 06 01 ⓔ 89 06 01	
3 希望の“日”がでるまで いいえ を繰り返し押します。 ↓ はい を押します。 〔10日をセット〕	ⓕ 89 06 10 ⓖ 89 06 10	確認します。 ↓ やり直す場合は いいえ を 押します。 ⓐの表示に戻ります。
4 はい を押します。 《セット完了》	年 月 日 ⓗ 89 06 10	

設定を終了する時は、スライドスイッチを「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

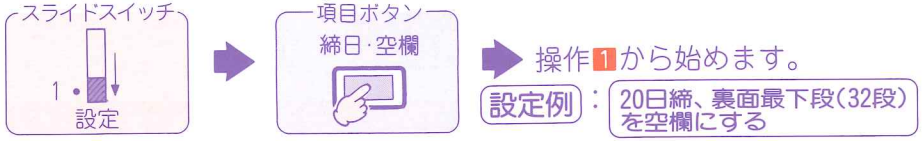
締日・空欄のセットへ

8 設定方法

締日とタイムカードの空欄位置を一緒に指定します。

★ アマノAカード使用の場合（31日が締日で1段目を空欄にする場合）は、セットする必要がありません。

★ 日付セットに続いて行う時は、操作1からはじめます。



操作	表示	注意
1 希望の"締日"がでるまで いいえ を繰り返し押します。 （月末締めは必ず31とします。） はい を押します。 〔締日20日をセット〕	締日 空欄No. a 31 01 b 20 01 c 20 17	初期値 月末締め（31日）表面最上段（1段）空欄が表れます。 カード表面 カード裏面 1（最上段） 2 ～ 16（最下段） 17（最上段） 18 ～ 32（最下段） ・タイムカードの表面最上段をNo.01、裏面最下段をNo.32として、空欄にしたい段をNo.でセットします。 ・締日をセットすると空欄は自動的に次のようにセットされます。
2 希望の空欄No.が出るまで いいえ を繰り返し押します。 はい を押します。 〔裏面最下段にセット〕	d 20 32 e 20 32	
3 はい を押します。	締日 空欄No. f 20 32	確認します。 やり直す場合は いいえ を押します。 ⓐの表示に戻ります。

締日	空欄No.	適用カード
1～14日/31日	01	アマノAカード
15～30日	17	Bカード Cカード

《セット完了》

設定を終了する時は、スライドスイッチを「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

段送り時刻 のセットへ

8 設定方法

印字段を変える時刻をセットします。

（段送り時刻とは、印字段を切り換える時刻です。）

★段送り時刻が午前5：00でいい場合は、セットする必要がありません。

★締日／空欄のセットに続いて行う時は、操作1から始めます。

操作	表示	注意
1 希望の"時"がでるまで いいえ を繰り返し押します。 はい を押します。 〔3時をセット〕	時 分 a 05:00 b 03:00 c 03:00	初期値午前5時が表れます。
2 希望の"分"が出るまで いいえ を繰り返し押します。 はい を押します。 〔0分をセット〕	d 03:00 e 03:00	確認します。 やり直す場合は いいえ を押します。 ⓐの表示に戻ります。
3 はい を押します。	時 分 f 03:00	

《セット完了》

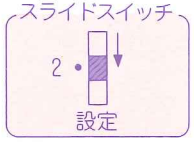
設定を終了する時は、スライドスイッチを「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

時・分 のセットに戻ります。

★ 二色・時報 をセットする時は、スライドスイッチを「2」にします。

8 設定方法

始業・終業時刻の印字色を切り換える時刻と、時報を鳴らす時刻をセットします。



➡ 操作1 から始めます。

設定例：月～金曜日 8時30分 黒→赤、時報鳴らす

操作	表示	注意
1 ▲が点滅している曜日をセットする時は［はい］を、セットしない時は［いいえ］を押します。 ↓ 日曜日の▲の点滅で［いいえ］を押します。	ⓐ 月 火 水 木 金 土 日 ⓑ 月 火 水 木 金 土 日 ⓒ 月 火 水 木 金 土 日 0	スライドスイッチを「設定2」にすると、自動的にⓐの表示になります。 月～金で［はい］土に［いいえ］を押すとⓑの表示になります。
2 印字を赤に切り換え、時報を鳴らすには、右の表よりNo. 5とわかるので5になるまで［いいえ］を押します。 ↓ ［はい］を押します。 〔No. 5をセット〕	ⓓ 月 火 水 木 金 土 日 5 ⓔ 月 火 水 木 金 土 日 50	
3 ［はい］を押します。 〔No. 0をセット〕	ⓕ 月 火 水 木 金 土 日 50 00:00	メロディは鳴らしません。 ★ EX6100は表示しません。
4 印字を切り換え、時報を鳴らす“時”が出るまで［いいえ］を繰り返し押します。	ⓖ 月 火 水 木 金 土 日 50 8:00	

No.	二色	時報
0	継続	鳴らさない
★ 1	継続	鳴らす
2	黒	鳴らさない
注➡ 3	黒	鳴らす
4	赤	鳴らさない
注➡ 5	赤	鳴らす

継続：印字の色は変化しません。
黒　：印字を黒に切り換えます。
赤　：印字を赤に切り換えます。

注➡時報とメロディを同時に鳴らせたい場合、二色時報のコードNo.は「3」か「5」のいずれかを設定して下さい。「1」を設定するとメロディは鳴らせません。

★ EX6100は1～5を設定します。

8 設定方法

操作	表示	注意
［はい］を押します。 〔8時をセット〕	ⓗ 月 火 水 木 金 土 日 50 8:00	
5 印字を切り換え、時報を鳴らしたい“分”が出るまで［いいえ］を繰り返し押します。 ↓ ［はい］を押します。 〔30分をセット〕	ⓘ 月 火 水 木 金 土 日 50 8:30	
6 ［はい］を押します。 〔8時30分をセット〕	ⓙ 月 火 水 木 金 土 日 50 08:30	確認します。 ↓ やり直す場合は［いいえ］を押します。 ⓐの表示に戻ります。
《セット完了》	ⓚ 月 火 水 木 金 土 日 50 08:30	

別の曜日で設定継続

［いいえ］を押します。
ⓐの表示に戻ります。
別の曜日を設定してセットを繰り返します。

同じ曜日で設定続行

［はい］を押します。
ⓒの表示に戻ります。
同じ手順でセットを繰り返します。

設定終了

スライドスイッチを「設定2」から「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

★ 設定は20ステップまで可能です。
20ステップ全て設定すると、自動的に吹鳴時間のセットに移ります。

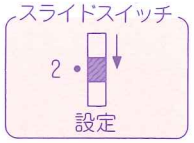
二色印字切換時刻と時報吹鳴時刻のセット

8 設定方法

メロディを鳴らす時刻のセット

就業時間の区切りを知らせるためのメロディ時刻をセットします。

【EX6200のみ】



➡ 操作1から始めます。

設定例：月～土曜日 10時10分 グリーンスリーブス

操作	表示	注意
1 ▲が点滅している曜日をセットする時は［はい］を、セットしない時は［いいえ］を押します。 ➡ 日曜日の▲の点滅で［いいえ］を押します。 〔月～土をセット〕	ⓐ 月 火 水 木 金 土 日 ▲ ⓑ 月 火 水 木 金 土 日 ▲▲▲▲▲▲▲ ⓒ 月 火 水 木 金 土 日 ▲ 0	スライドスイッチを「設定2」にすると自動的にⒶの表示になります。 月～土で［はい］を押すと、ⓑの表示になります。
2 右の表を見て、希望のNo.が出るまで［いいえ］を押します。 ➡ ［はい］を押します。 〔No. 0をセット〕	ⓓ 月 火 水 木 金 土 日 ▲ 0 二色時報設定NO.	
いよいよメロディのセットです		
3 右の表を見て、希望のNo.が出るまで［いいえ］を押します。 ➡ ［はい］を押します。 〔No. 1をセット〕	ⓔ 月 火 水 木 金 土 日 ▲ 0 ⓕ 月 火 水 木 金 土 日 ▲ 01	

No.	二色	時報
0	継続	鳴らさない
★ 1	継続	鳴らす
2	黒	鳴らさない
注➡ 3	黒	鳴らす
4	赤	鳴らさない
注➡ 5	赤	鳴らす

注➡時報とメロディを同時に鳴らせたい場合、二色時報コードNo.は「3」か「5」のいずれかを設定して下さい。「1」を設定するとメロディは鳴りません。

★ EX6100は1～5を設定します。

No.	メロディ
0	鳴らさない
1	グリーンスリーブス
2	エリーゼのために

★ EX6100は表示しません。

操作	表示	注意
4 メロディを鳴らしたい“時”が出るまで［いいえ］を繰り返し押します。 ➡ ［はい］を押します。 〔10時をセット〕	ⓖ 月 火 水 木 金 土 日 01 00:00 ⓗ 月 火 水 木 金 土 日 01 10:00	
5 メロディを鳴らしたい“分”が出るまで［いいえ］を繰り返し押します。 ➡ ［はい］を押します。 〔10分をセット〕	ⓘ 月 火 水 木 金 土 日 01 10:00 ⓙ 月 火 水 木 金 土 日 01 10:10	
6 ［はい］を押します。 〔月～土の10：10にグリーンスリーブスをセット〕	ⓚ 月 火 水 木 金 土 日 01 10:10	確認します。 ➡ やり直す場合は、［いいえ］を押します。 ⓐの表示に戻ります。
《セット完了》	ⓛ 月 火 水 木 金 土 日 01 10:10	

別の曜日で設定継続

［いいえ］を押します。
ⓐの表示に戻ります。
別の曜日を指定してセットを繰り返します。

同じ曜日で設定続行

［はい］を押します。
ⓒの表示に戻ります。
同じ手順でセットを繰り返します。

設定終了

スライドスイッチを「設定2」から「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

★ 設定は20ステップまで可能です。20ステップ全て設定すると、自動的に吹鳴時間のセットに移ります。

8 設定方法

ベル・ブザーなど外部時報装置が鳴る秒数をセットします。

★ 二色・時報のセットに続いて行う時は、操作1から始めます。

設定例：8秒

操　作	表　示	注　意
1 希望の秒数が出るまで いいえ を繰り返し押します。（最大12秒） ↓ はい を押します。 〔8秒をセット〕	a 05 b 08 c 08	初期値5秒が表れます。 ★ 0秒をセットすると時報は吹鳴しません。

《セット完了》

設定終了する時は、スライドスイッチを「設定2」から「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

二色・時報 のセットへ

9 設定の確認

二色印字／時報／メロディの時刻セットを確認します。

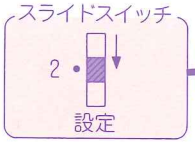
操　作	表　示	注　意
1 スライドスイッチ 2 設定	a 月火水木金土日 50 8:00	設定されているうちで、一番若い時刻から表示します。
2 はい を3秒以上押し続けます。 ↓ 全ての設定内容を表示し、右の表示でストップします。	b 月火水木金土日 51 8:30 c 月火水木金土日	若い時刻から1秒毎に次々と表示します。 20ステップ全て設定してある場合は、20番目の設定内容を表示すると次は1番目の設定内容を表示します。
1ステップ毎に確認する場合 1 スライドスイッチ 2 設定 2 はい を3秒押し続けます。 設定が表れたら はい を離します。	d 月火水木金土日 50 8:00	はい を3秒押して離す。 という動作を繰り返すと、1ステップ毎に確認できます。

10 設定内容の変更

二色印字/時報/メロディの設定時刻を削除します。

設定時刻が不要になった場合やセットした時刻を変更する場合に行います。

・特定の内容を削除する方法
・全ての設定内容を削除する方法 ＞ があります。



特定の設定内容を削除する場合は1の操作をします。
全ての設定内容を削除する場合は2の操作をします。

操　作	表　示	注　意
1 特定の内容を削除 はい を3秒以上押し続け削除したい設定内容が表れたら はい を離します。 ▼ いいえ を押して曜日の▲マークを全て消します。 《削除完了》	a 月火水木金土日 8:00 b 月火水木金土日 10:00 c 月火水木金土日 d 月火水木金土日 10:10	スライドスイッチを設定2にすると設定されている一番若い時刻を表示します。 1秒程表示が全て消え、削除したことを示します。 削除されると、次に設定されている時刻を表示します。
2 全ての内容を削除 （現在時刻・年月日・締日 空欄・段送り時刻は 削除されません。） はい と いいえ を同時に 3秒以上押し続けます。 《削除完了》	e 月火水木金土日 f 月火水木金土日	1秒程表示が全て消え、削除したことを示します。 全てがクリアされた状態。

削除が終了したらスライドスイッチを「通常」に戻し、上ケースをかぶせます。

10 設定内容の変更

二色印字／時報／メロディの設定時刻を追加します。

新規の時刻を設定する場合や設定内容を変更する場合に行います。
追加は現在の設定内容の最後に入れます。（設定は20ステップまで）

操　作	表　示	注　意
1 スライドスイッチ 2 設定	a 月火水木金土日 8:00	設定されている中で、一番若い時刻を表示します。 （時刻順に表示します。）
2 はい を押し続け、設定内容を全て確認します。	b 月火水木金土日	全ての確認が終わるとbの表示になります。
3 曜日を選択 設定したい曜日の下に▲マークがある時に はい を押します。	c 月火水木金土日 00:00	二色印字／時報
4 二色印字/時報を選択 EX6100は二色印字の設定のみです。		
5 メロディを設定 EX6200のみです。	d 月火水木金土日 00:00	★ EX6100は1～5を設定します。

No.	二色	時報
0	継続	鳴らさない
★ 1	継続	鳴らす
2	黒	鳴らさない
3	黒	鳴らす
4	赤	鳴らさない
5	赤	鳴らす

No.	メロディ
0	鳴らさない
1	グリーンスリーブス
2	エリーゼのために

設定が終ったらスライドスイッチを「設定2」から「通常」に戻し上ケースをかぶせます。

10 設定内容の変更

二色印字・時報・メロディの設定時刻の変更

二色印字／時報／メロディの設定時刻を変更します。

変更したい設定内容を呼び出します。（操作2）
その設定内容の曜日の▲マークを全て削除します。（操作3）
現在の設定内容の最後へ新しい設定として追加します。（操作5～7）

操　作	表　示	注　意
1 スライドスイッチ 2・ 設定	a 月 火 水 木 金 土 日 50 8:00	設定されている中で、一番若い時刻を表示します。
2 はい を3秒以上押し続け、削除したい設定内容が表れたら はい を離します。	b 月 火 水 木 金 土 日 01 10:10	
3 いいえ を押して曜日の▲マークを全て消します。		削除完了すると次に設定されている表示が出ます。
《削除完了》		
4 はい を押し続け、設定内容を全て確認します。	c 月 火 水 木 金 土 日	
5 **変更した曜日を選択** 設定したい曜日の下に▲マークがある時に はい を押します。	d 月 火 水 木 金 土 日 00 00:00	
6 **二色印字/時報を選択** EX6100は二色印字の設定のみです。	e 月 火 水 木 金 土 日 00 00:00	
7 **メロディを設定** EX6200のみです。		

No.	二色	時報
0	継続	鳴らさない
★1	継続	鳴らす
2	黒	鳴らさない
3	黒	鳴らす
4	赤	鳴らさない
5	赤	鳴らす

★ EX6100は1～5を設定します。

No.	メロディ
0	鳴らさない
1	グリーンスリーブス
2	エリーゼのために

設定が終了したらスライドスイッチを「通常」に戻し、ケースをかぶせます。

11 アナログ時計のセット

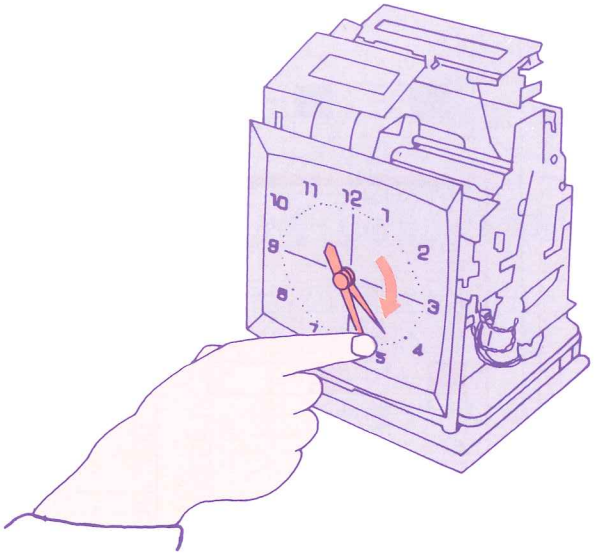
アナログ時計のセット

長針を動かし、現在時刻をあわせます。

長針を指で右に回し、現在時刻に合わせます。

【注】短針には手をふれないでください。

- セットが完了したら、上ケースをかぶせ付属のキーで固定します。

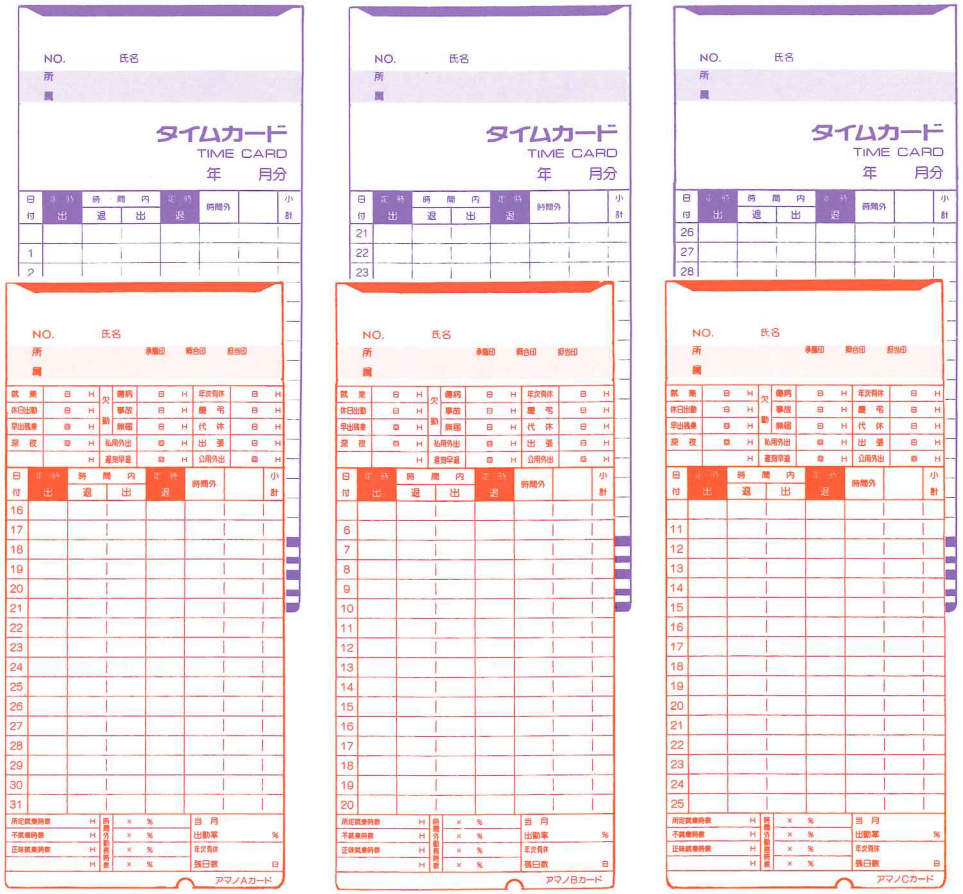


バッテリー接続後は常時正しく運針しています。
従って、逆回しをしないでください。

タイムカードの種類

使用できるタイムカードの種類

アマノ標準タイムカードをご使用ください。
締日によりAカード　Bカード　Cカード　Dカードがあります。
誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると 01--:-- の表示が出て「ピッ！」とアラームが鳴り、印字できません。（両面判別機能）



Aカード
月末締め（両面）

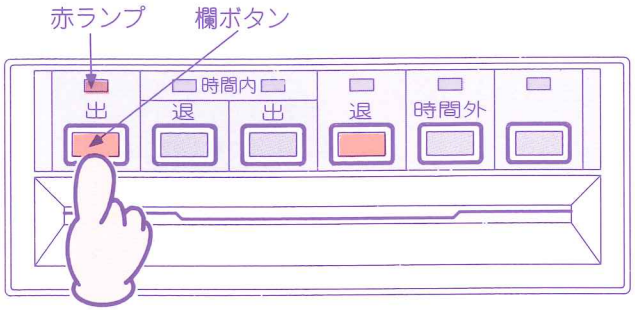
Bカード
20日締め（両面）

Cカード
25日締め（両面）

■ Dカード　日付印刷なし（両面）……特注品

印字欄の合わせ方（出・退等）

「出」「退」の印字位置は手動で選択します。



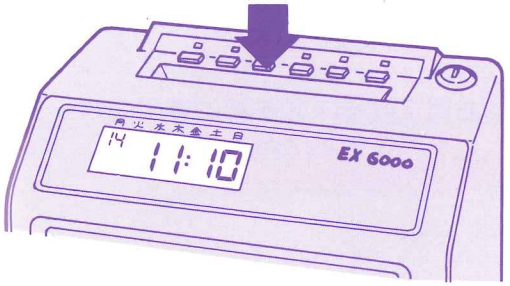
タイムカードを挿入する前に印字したい欄ボタンを押し、その欄の赤ランプを点灯させます。

タイムカードの表面、裏面をまちがいなく挿入します。
01--:-- の表示が出て「ピッ！」とアラームが鳴ったらカードを裏返します。

■ 印字中にタイムカードを引き抜かないでください。

■ 折れ曲ったり、破れたカードは、使用しないでください。

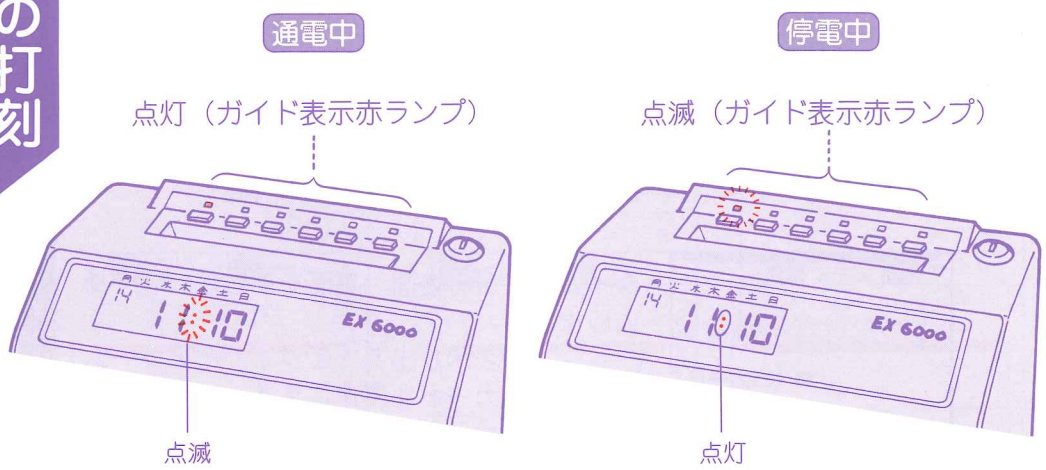
■ 次に欄ボタンを押すまで、同じ欄のまま変りません。



停電中の取扱いと打刻制限について。

EX6000シリーズは専用のバッテリーを搭載しており、停電があっても80打刻か１日程度までは、印字できます。

■ 通電中と停電中の区別



■ デジタル表示が消え、アナログ時計の歩進も停止したら、印字はできません。

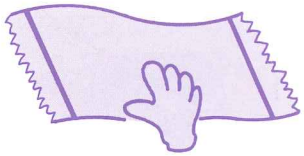
■ 停電しても、設定内容や時計データのカウントは７日間補償されます。

■ 復電後はデジタル時計、アナログ時計は共に、自動的に現在時刻になります。

■ 長期間停電しますと、復電後30秒間何も作動しないことがありますが、故障ではありません。バッテリー充電の為です。

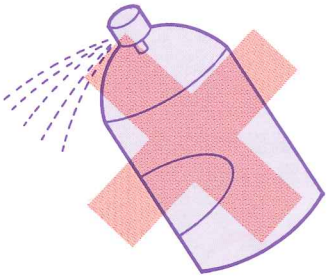
■ バッテリーの寿命は約３年です。お買上げ後、３年毎に専用のバッテリーと交換します。

ケースが汚れた時のふきとり



やわらかい布に水または洗剤を含ませて、軽くふいてください。

ベンジン・シンナー（揮発性のもの）など薬品を使ってふくと、変形や変色の原因となります。



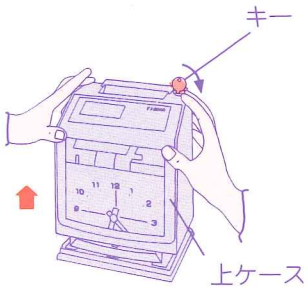
殺虫剤などスプレーをかけた場合でも、変形や変色の原因となります。

窓ガラスはやわらかい布で空拭きします。
表面は特殊加工されておりますのでご注意ください。

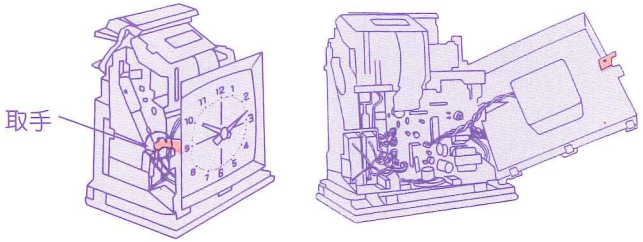
13 メロディの音量調節

ご使用になる環境に合わせて、メロディを聞きやすい音量にします。

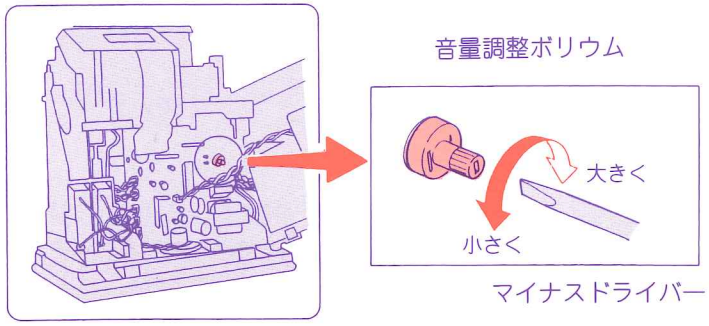
1 付属のキーを差し込んで右にまわし、上ケースをまっすぐ上に持ち上げてはずします。



2 文字盤の左横についている取手をもって押し下げ、ツメからはずして文字盤を手前に開きます。



3 現在時刻をメロディの鳴る１分前にセットします。
スライドスイッチを「通常」から「設定１」にし、**いいえ**ボタンで希望の時を出し、**はい**ボタンで設定。**いいえ**ボタンで希望の分を出し、**はい**ボタンで設定します。



4 メロディが鳴り始めたら、音量調節ボリウムを、細いマイナスドライバーを使用して適当な音量になるよう調整します。

14 外部時報のつなぎ方

ベル、ブザー等、外部時報装置を鳴らすために

EX6000シリーズの仕様に合ったベル、ブザーなど外部時報装置を鳴らします。
接続例に従って結線し、時報装置側へサージアブソーバを取り付けてください。

時報装置が鳴る秒数は、設定で登録します。 22ページ

外部接続仕様

接点出力：無電圧接点出力（メイク接点）

接点容量：ＡＣ 250Ｖ 0.5Ａ以下

ＤＣ 24Ｖ 0.5Ａ以下

時報回路：１回路１接点

出力時間：１～12秒

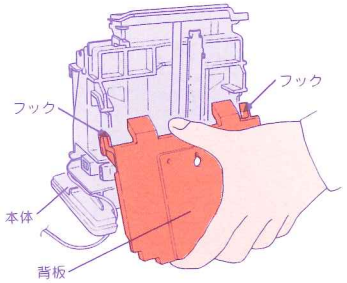
ノイズによる誤作動を防止するために、時報装置側へサージアブソーバ（例：Ｓ－1205など）を取り付けます。

14 外部時報のつなぎ方

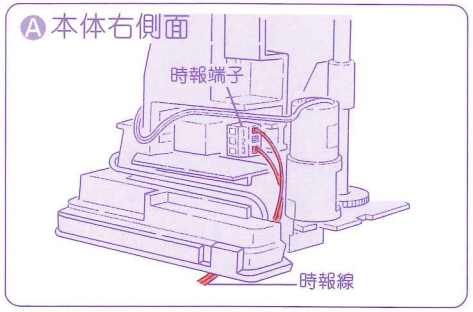
時報線を接続する方法

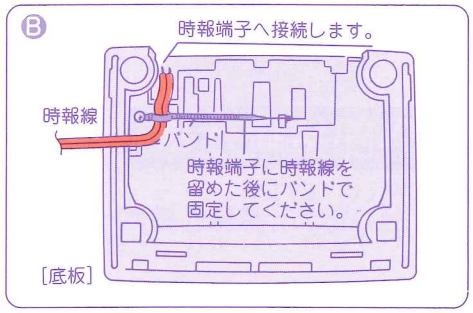
1 上ケースをはずし、背板もはずします。

- 電源コードを抜きます。
- 背板を持ち、下部を少し手前に引きながら、下におろすようにしてはずします。
- 背板をはめるときは、背板両側のフックを本体のみぞに合わせて、下から同時にはめ込みます。



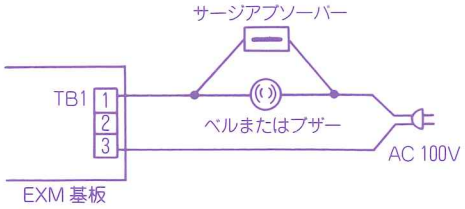
2 時報線をつなぎます





- 時報線を、時報端子（図Ａの赤印）につなぎ、マイナスドライバーで止めます。（図Ａ□部）
- 時報線（図Ｂ赤印）を固定するために、底板のバンドで止めます。

時報線配線図

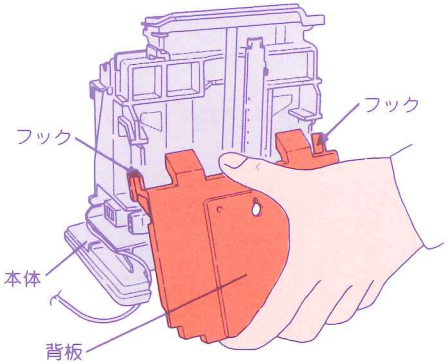


15 壁に掛ける場合

台を置けない場所へ取り付ける時は壁掛けにします。

4 mmの木ネジを 4 本ご用意ください。

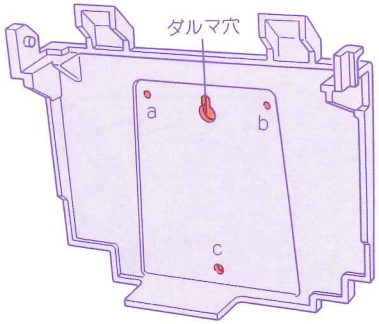
1 上ケースをはずし、背板もはずします。
- 背板を持ち、下部を少し手前に引きながら、下におろすようにしてはずします。



2 外した背板のダルマ穴と、穴ａ・ｂ・ｃを打ち抜きます。

3 ダルマ穴を壁の適当な高さに木ネジで固定し、次にａ・ｂ・ｃを木ネジで固定します。

4 本体を背板に引掛けます。背板両側のフックを本体のみぞに合わせて、下から同時にはめ込みます。

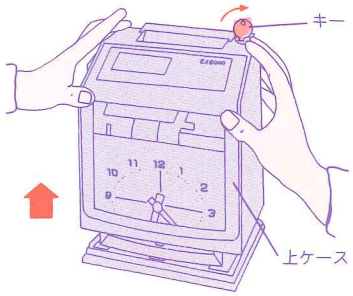


★ ａ・ｂ・ｃの穴径は4.5㎜です。

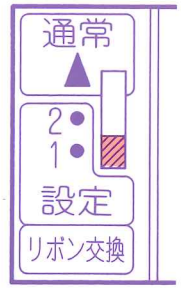
16 リボンカセットの交換

印字が薄くなりましたら、リボンカセットを交換します。

1 付属のキーを差し込んで右にまわし、上ケースをまっすぐ上に持ち上げてはずします。

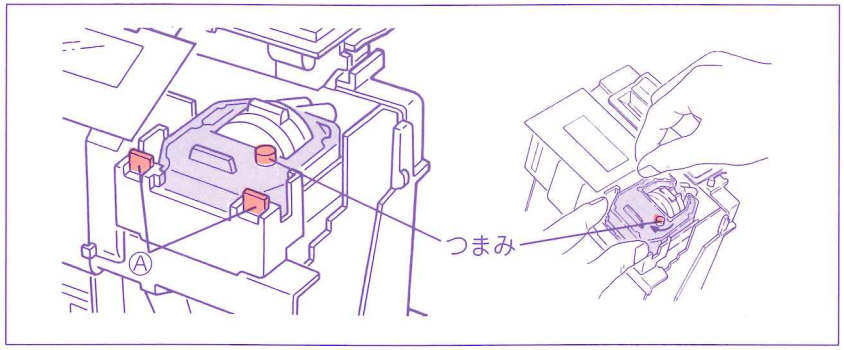


2 スライドスイッチを「リボン交換」の位置に合わせます。（設定１）
（リボンカセットが右端へ移動します）



3 リボンカセットの押さえ（下図Ⓐ２ヶ所）を手前に引いたまま、リボンカセット（下図青い部分）を取り出し、新しいリボンカセットをセットします。

＊ セット後リボンカセットのつまみを矢印の方向に２～３回まわして、リボンのたるみをとってください。



4 スライドスイッチを「通常」の位置に戻して、上ケースをかぶせます。

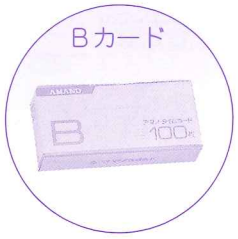
5 テスト印字してください。

17 消耗品・別売品

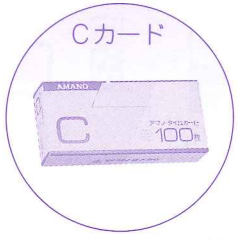
★ お買い上げいただいた販売店へお問合せください。

タイムカード（１箱100枚）

月末締め用カード

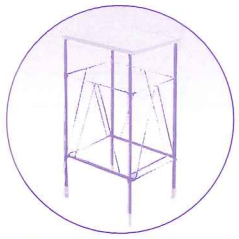


20日締め用カード



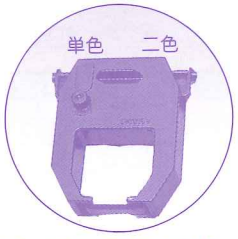
25日締め用カード

レコーダースタンド



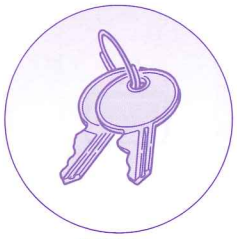
400W×685H×300D（m/m）
5.5kg

リボンカセット



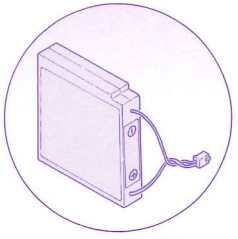
単色：EX6000用（CE-315150）
二色：EX6100/6200用（CE-315250）

鍵（ケース開閉用）



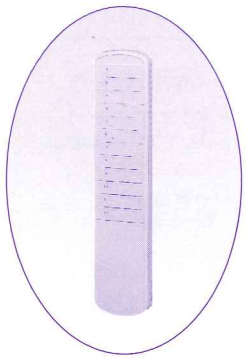
＃700キー
（C-417450）

バッテリー

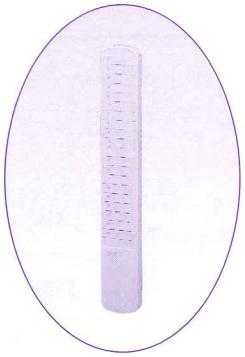


（EBA-261300）

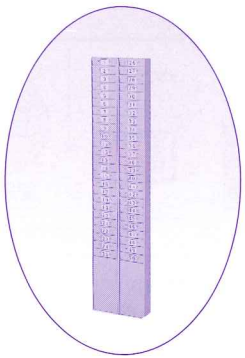
カードラック



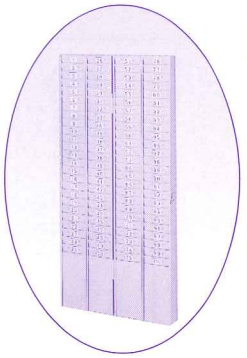
12枚差し（ABS 樹脂製）
108W×490L×34D（m/m）



20枚差し（ABS 樹脂製）
108W×710.6L×34D（m/m）



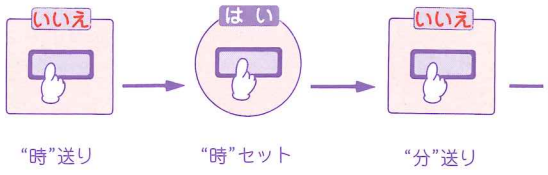
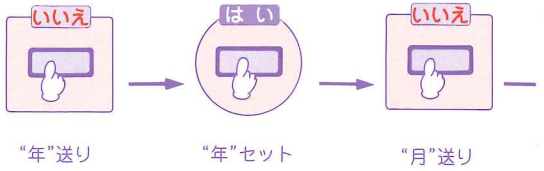
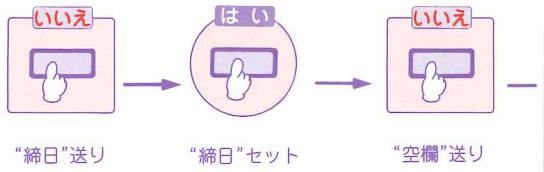
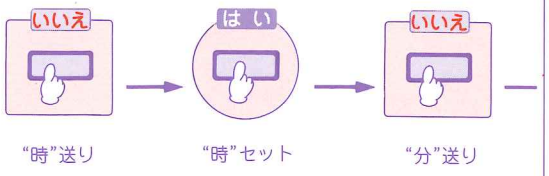
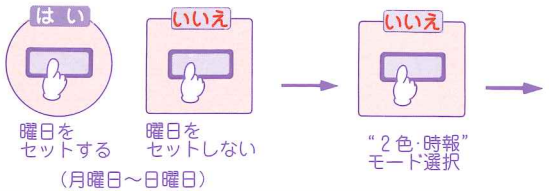
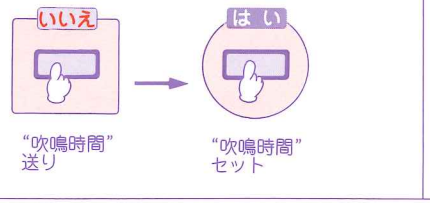
50枚差し（スチール製）
206W×862L×42.5D（m/m）



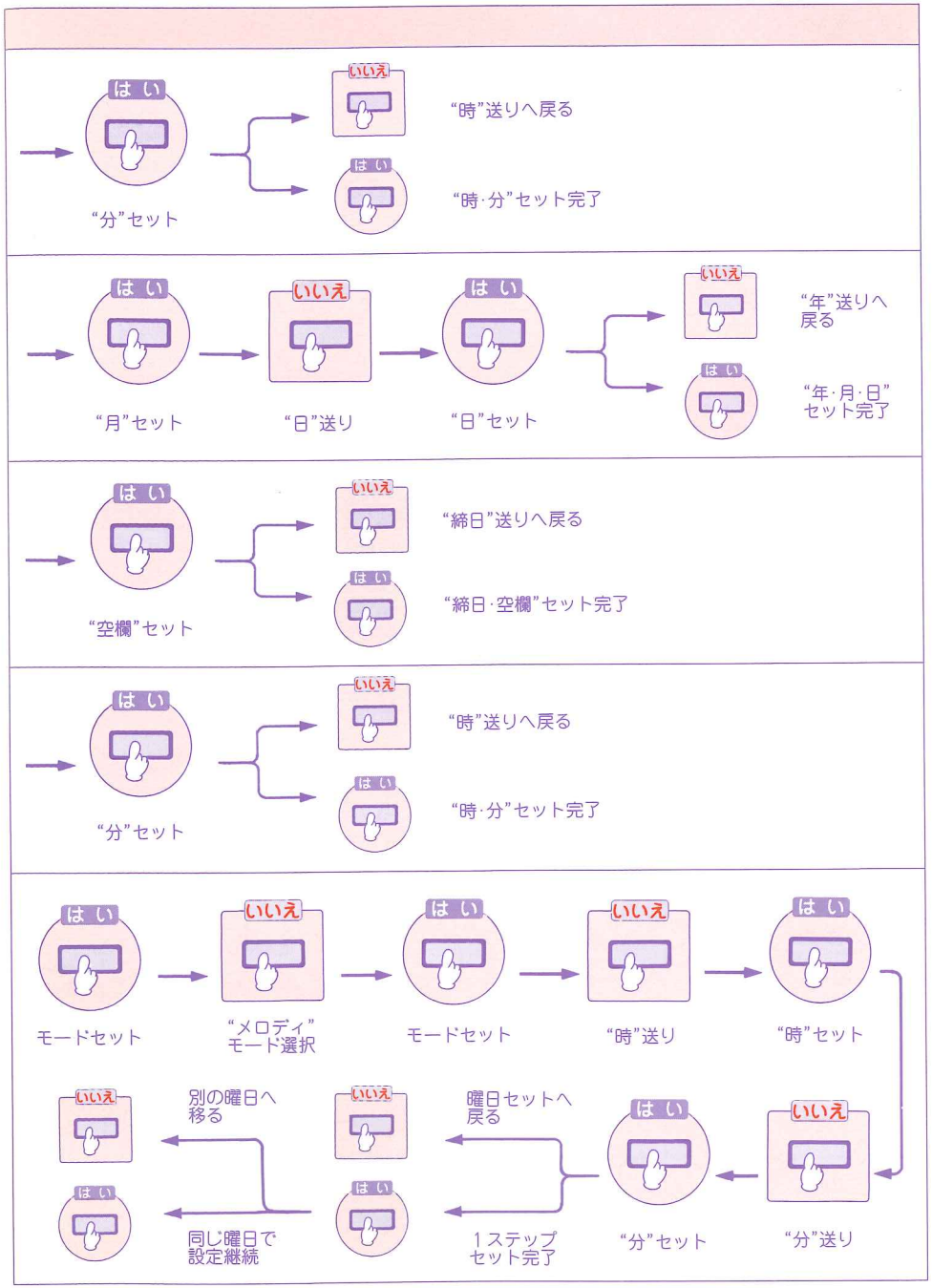
100枚差し（スチール製）
419W×862L×42.5D（m/m）
（２つ折可能）

☆デザイン・価格はお断りなく変更することがございます。

18 設定の早見表

スライドスイッチ	設定ボタン	設定内容
1 設定	時・分 出	
	年・月・日 退	
	締日・空欄 出	
	段送り 退	
2 設定	二色・時報 出	
	吹鳴時間 退	

18 設定の早見表



19 設定表

【EX6200用】

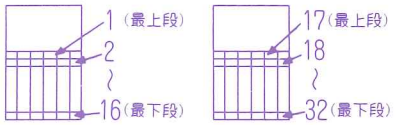
締日 [ ][ ] 日（01～31）

空欄 [ ][ ] No(01～32)

段送り時刻 [ ][ ][ ][ ] 時・分
（00：00～23：59）

時報吹鳴時間 [ ][ ] 秒（0～12）0秒の時は吹鳴しません

空欄No.



曜日							二色・時報	メロディ	時刻
月	火	水	木	金	土	日			時：分
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:
									:

二色印字・時報・メロディは
下表のコードNo.を設定します。

No.	二色	時報
0	継続	鳴らさない
1	継続	鳴らす
2	黒	鳴らさない
注➡ 3	黒	鳴らす
4	赤	鳴らさない
注➡ 5	赤	鳴らす

No.	メロディ
0	鳴らさない
1	グリーンスリーブス
2	エリーゼのために

注⇨ 時報とメロディを同時に鳴らせたい場合、二色・時報のコードNo.は「3」か「5」のいずれかを設定してください。

★ 二色印字・時報・メロディの設定は20ステップまで可能です。

19 設定表

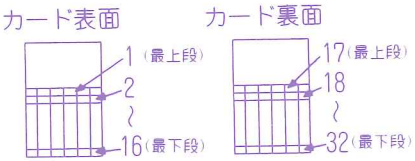
【EX6100用】

締日 [ ][ ] 日（01～31）

空欄 [ ][ ] No(01～32)

段送り時刻 [ ][ ][ ][ ] 時・分
（00：00～23：59）

空欄No



曜日							二色・印字	時刻
月	火	水	木	金	土	日		時：分
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:
								:

二色印字

No.	二色
1	継続
2	黒
3	黒
4	赤
5	赤

★ 二色印字の設定は20ステップまで可能です。

五十音順目次

〈あ行〉アナログ時計のセット …… 27
印字欄の合わせかた …… 29

〈か行〉外観 …… 5
外部接続仕様 …… 33
壁に掛ける場合 …… 35
ケースの外しかた …… 7

〈さ行〉時・分のセット …… 14
時報吹鳴時間のセット …… 22
時報吹鳴時刻のセット …… 18
時報設定時刻の変更 …… 26
時報設定の確認 …… 23
時報セット時刻の削除 …… 24
時報線の接続 …… 34
締日・空欄のセット …… 16
消耗品・別売品 …… 37
初期化のしかた …… 9
製品仕様 …… 2
設置場所 …… 3
設置を避ける場所 …… 3
設定項目の確認 …… 10
設定手順 …… 13
設定内容の追加 …… 25
設定の早見表 …… 38
設定表 …… 40
設定表の記入例 …… 11
設定方法 …… 12
操作部の名称と機能 …… 6

〈た行〉タイムカードの種類 …… 28
段送り時刻のセット …… 17
停電時の打刻 …… 30
電源について …… 4
電源の入れかた …… 4
特長 …… 1

〈な行〉二色印字切換時刻のセット …… 18
二色印字設定時刻の変更 …… 26
二色印字設定の確認 …… 23
二色印字の設定時刻の削除 …… 24
日常のお手入れ …… 31
年・月・日のセット …… 15

〈は行〉バッテリーコネクタの接続 …… 8
付属品 …… 2

〈ま行〉メロディ設定時刻の変更 …… 26
メロディ設定の確認 …… 23
メロディセット時刻の削除 …… 24
メロディの音量調節 …… 32
メロディを鳴らす時刻のセット …… 20

〈ら行〉リボンカセットの交換 …… 36